

事業計画書

事業名	みらいへつなぐプロジェクト～佐久平浅間小学校から世界へ～	
重点テーマへの該当	有 テーマを記載	
	無	
実施箇所	佐久平浅間小学校	
実施期間	事業開始予定年月日	令和3年 5 月 6 日
	事業終了予定年月日	令和4年 3 月 30 日
事業概要	<事業の目的> 感染症の影響や学校の増築工事によりおおぞらまつりの開催が難しく、新しい形でのPTA活動を企画 ●中止にならない持続可能かつ保護者と教員が子ども達のためにできる活動 ●みらいを創り担う子ども達が「自分は社会の中の大切なひとり」と実感できるような活動をする ●学校目標「みんなの中でわたしになる」～チガイをチカラにかえる学校～を後押しする活動 ●PTA活動にSDGsを取り入れ、「誰一人取り残さない社会の実現」を目指す	
	<事業の内容> 1.SDGsを深く知る 学校にて ・SDGsを知り、出来ることから実行していく ・SDGs特別賞を受賞している「長野SDGsプロジェクト」の出前授業を受講 ・低学年、高学年、PTAと分けて受講する 2.循環型社会を実現(低学年)学校にて ・生ゴミを「循環する資源」として活用し循環出来ることを知る ・各クラス毎に段ボールコンポストから堆肥を作り、畑の野菜作りに生かす ・近隣高校にも協力してもらい堆肥の作り方や、なぜ堆肥が必要なのか教えてもらう。 3.信州プラスチックスマート運動(高学年)学校にて ・プラスチックと賢く付き合い、代替品の使用を進めていく ・廃材からレジ袋の代替品を制作し地域に広げていく 4.SDGsロゴの巨大手形アートにチャレンジ! (全校児童、PTA)学校にて ・まずはSDGsという言葉や活動があるということを学校全体や地域の方に知ってもらう ・SDGsのロゴを巨大手形アートにして校舎外に貼り出す ・手形は全校児童、PTAのものを使用する ・岩村田高校美術班に協力してもらい、アートのデザインや制作のやり方、必要な材料を一緒に考えていく	
	<達成目標> SDGsへの理解 堆肥の完成 レジ袋代用品の完成 SDGs手形アートの完成	
	<広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）> PTA新聞や各家庭に配布するプリントにまちづくり活動支援金事業である旨を表記	
<重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）>		

年間計画	4 月	
	5 月	・「長野SDGsプロジェクト」と「佐久平総合技術高校」とのコラボ企画の打ち合わせ ・SDGsロゴの巨大手形アート制作について「岩村田高校 美術の先生」と打ち合わせ
	6 月	
	7 月	・「長野SDGsプロジェクト」の出前講座受講(PTA)予定
	8 月	
	9 月	・「長野SDGsプロジェクト」の出前講座受講(低学年)(高学年)予定 ・コンポスの制作予定 ・レジ袋代替品の制作予定 ・SDGsロゴの巨大手形アート制作予定
	10 月	・SDGsロゴの巨大手形アートお披露目予定
	11 月	
	12 月	
	1 月	
	2 月	
	3 月	・活動のまとめを動画にして配信

特記事項	地域や社会にどのような利益がもたらされるか	<「公益性」の視点> ・佐久平浅間小学校は東に幹線道路、南に小海線や北陸新幹線、西に中部横断道からよく見える場所にありSDGsロゴの巨大手形アートを校舎外に張り出すことでSDGsを地域の方周知できる ・レジ袋の代替品を制作し、お店に配布するなど地域に貢献できるよう活動していく
	どのような点に独自性や工夫があるか	<「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点> ・SDGsロゴの巨大手形アートは全校児童とPTAのものを使用。理由があって学校へ来られない児童も参加できるように、スタンプ形式にこだわらず、手形の紙を切って貼るなど高校生とも意見交換しながら制作していく ・近隣の高校とのコラボすることで充実した活動や、多様性も学べると期待する ・循環型社会をコンポストを使うことで学ぶ
	市内へどのように取組が波及していくことが見込まれるか	<「波及効果」や「発展性」の視点> ・SDGsを身近な「自分のこと、身近なこと」と感じ、活動することで少しずつ世界や未来を変えていくことができることを実感し「自分は社会の中の大切なひとり」と実感できるよう取組んでいく ・小学生がSDGsを近隣の高校とコラボして活動することで高校への興味、理解、将来への希望も深めることが期待できる
	活動を継続するためにどう取り組むか	<「自立性」の視点> ・PTAの活動のため、来年度の本会役員につなぐことができるよう、本年度の活動は透明性のあるわかりやすい活動にしていける
	翌年度以降の活動内容概要	・SDGsの活動は持続可能で身近なことから始められるため、翌年以降も継続していけると期待できる
	事業の最終目標	・「みんなの中でわたしになる」～チガイをチカラにかえる学校～の後押し ・「誰一人取り残さない社会の実現」 ・自分を認め、他人を許す寛容な心を作る